



## 応援します！ 地域活動



### つくし野バレーボールクラブの紹介

我孫子市には現在、家庭婦人バレーボールチーム 11 チームが活動しています、いわゆるママさんバレーです。その中のひとつ『つくし野バレーボールクラブ』を今回取材しました。

つくし野バレーボールクラブは 我孫子市主催の大会など 9 人制家庭婦人の部に年に 10 回ほど大会に出場しています。練習は主に火曜日と土曜日の週 2 回、夜 19 時から 21 時の 2 時間久寺家中学校の体育館を借りて行なっています。ベテラン名監督本田和太郎監督の元、長年活動を行なっているチームですが、残念ながらコロナの影響で現在は練習も試合も自粛となっています。

現在 15 名の部員はつくし野地区近隣に住む 30 代から 50 代の主婦を中心に構成されています。随時新入部員は募集しているそうです。チームのモットーは「楽しくやろう！」とのことで「興味のある方は勇気を出して一度こちらのアドレスまでご連絡を」と取材を受けてくださった飯塚キャプテンからのお言葉もありました！

連絡先： tsukushinoclub@gmail.com (文責 甲斐)



## 自治会 あれこれ



### シティア自治会とはこんなところ

すでに 14 期を迎えたシティア自治会は A 棟 B 棟と別れた環境にはありますが一体となり福祉、文化、教養、およびスポーツ活動を通じて住民相互の親睦と明るく安らぎのある住環境を作り出して、を合言葉に会長のもと各分野の 9 つの部会と 30 を超えるグループ・サークルが活発な活動をしています。



更にシティア内での「助け合い活動」としては登録スタッフ 20 人を超す方々が手助けを必要としている人に対して「困った時は迷わずに」をキャッチフレーズにゴミ出しやパソコン操作等々あらゆる面での手助けをお互い様の精神で取り組んでいます。また、毎月の定例役員会と開催の都度の「自治会たより」、年 4 回の「シティア通信」の定期発行にも余念なし。敷地内の施設等のリニューアル工事も進み、コロナ禍で停滞していた活動

もシティア全体での感染拡大防止対策に万全で臨む中で各部会も活動の準備を着々と進めています。春ともなれば周辺の平成 27 年に桜八景に選ばれたマンション街の桜も見ごたえ十分ですので是非お訪ねいただき、若木や古木の美しい桜を愛でお楽しみ下さい。(文責 長谷川)

### 【お知らせ】我孫子市和太鼓祭り動画配信

今年度の我孫子市和太鼓祭りは中止となりましたが、お祭りが大好きな市内の和太鼓団体が集結して「お祭り動画」を YouTube に配信しました。YouTube から「我孫子市和太鼓祭り」で検索すると視聴できます。

【64号クイズ第三問解答の訂正】仲間外れは「1、和歌山県」です。理由：和歌山県のみ海に面しているため。お詫びして訂正します。

みんな見てね！



## 取材 てくてく きたちゃん



### 100年後を見据えた妻子原の里山作り

県道船取線を取手方面に進み、常磐線のトンネルを抜けすぐ左手奥にその里山はあります。三方を急斜面に囲まれた山林を「妻子原の森を守る会」がベンチ、山野草の花壇、山道の階段をこつこつ作っています。四季を通しヤマツツジ、桜、秋には野菊や紅葉が楽しめる安らかな空間が生まれました。

里山整備が始まったのはおよそ 10 年前。当時は立ち入ることすら出来ない草木が密生した荒れた山林でした。樹齢 70 年ほどの杉は挿し木苗で植林された為病害が発生しやすく根の張りも浅い。昨今台風で杉の倒木が相次いでいるのも挿し木苗で生育した杉の木の弱体化が原因だとも言われています。

取材当日、高さ 20~30 メートルの杉の伐採が行われました。チェーンソーでの杉の切断、ザイルによる木の登攀作業は妻子原在住



妻子原の森を守る会の皆さん

のボランティアが行っています。間伐した杉などの樹木は皆で枝葉を切り落とし丸太にして山道や花壇の仕切などに再利用されます。日当たりが良くなった里山は低木の生育を助け豊かな森に生まれ変わります。

こうして 50 年、100 年後を見据えて愛される里山になるように妻子原の森を守る

会の皆さんは森を育てているのです。夏はカブトムシ、クワガタムシが集まる木もあります。神棚のお供えに使用される榊も自生しています。四季を問わずどなたでも楽しめる森です。ぜひお子様連れで足を運んでみてください。妻子原の森を守る会一同、皆様のご来訪を心よりお待ちしております！(文責 松下)



手入れが進む妻子原の里山



手分けしての間伐材処理

問2 (2, 1, 3)



## みんなで考えよう！

### 猫トラブルの解決に向けて

どの自治会でも猫のトラブルに頭を痛めた経験があると思います。飼い主のいない猫は、自然のままにしておく瞬間に数が増え、地域で管理する「地域猫」にすることで、その数を減らすことができます。屋外の猫の寿命は室内飼いの猫よりずっと短く、5 年から 6 年程度と言われています。生を全うするまで地域で管理すれば飼い主のいない猫は徐々に減っていき、トラブルも減っていきます。

我孫子市は地域猫不妊去勢手術補助金事業を通して、ボランティアと自治会が連携した地域猫活動を推進しています。現在、地域猫団体の活動場所となっている自治会は市全体で 22 自治会とわずか 1 割程度です。地域猫活動に協力する自治会をもっと増やし、自治会・ボランティア・住民が連携してねこに関するトラブルの解決につなげましょう。(文責 松下)



耳がV字にカットされているのは不妊去勢手術済のしるしです